

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第155回

平成31年1～3月期 実績

平成31年4～6月期 予測



34商工会地域(白部分)

平成31年4月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

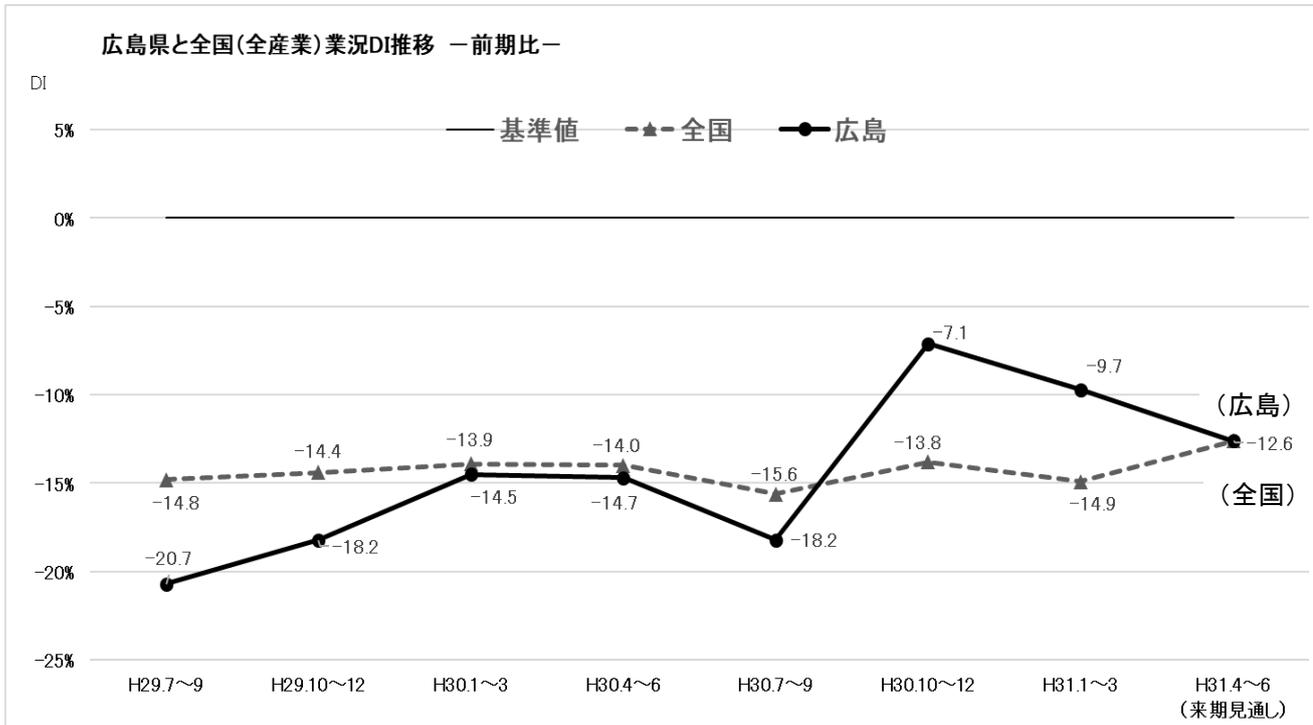
1. 調査趣旨	<p>この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。</p> <p>広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。</p>
2. 調査対象	<p>(対象地区) 県内15商工会</p> <p>祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸太田町、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、三次広域、備北</p> <p>(対象企業) 225社</p> <p>製造業51 建設業38 小売業73 サービス業63</p>
3. 調査方法	経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間	平成31年1月～3月期実績、及び平成31年4月～6月期の見通し
5. 調査時点	平成31年3月1日

6. DIとは
- Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら.....強気(楽観)、上昇機運
- DIがマイナス(-)なら.....弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。
7. 表記基準
- 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
- 「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
- 「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上
8. その他
- この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。
- (参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料
- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)
<http://www.smrj.go.jp/keiei/chosa/keikyo/>
 - 中国財務局 (中国地方の経済情勢)
<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>
 - 広島県 (広島県経済の動向)
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

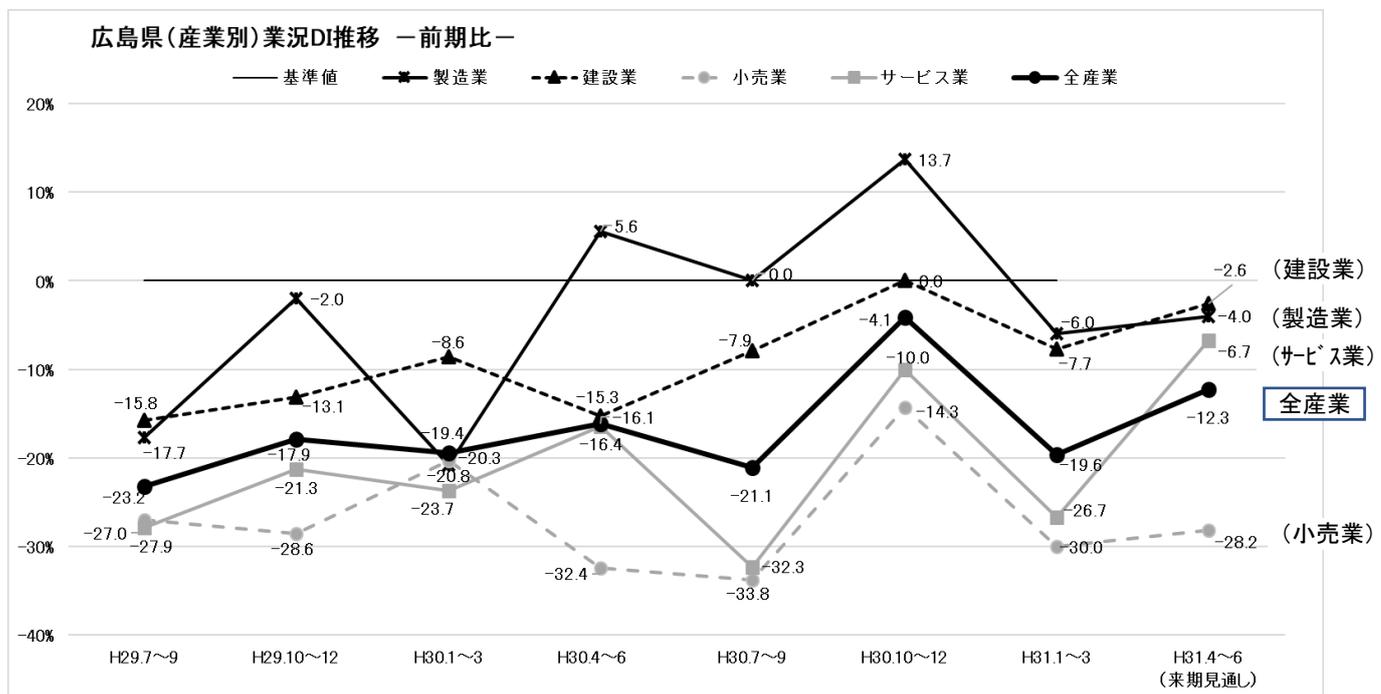
1. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県全産業の今期業況DIは、前期-7.1から-9.7(前期差2.6ポイント)と小幅に低下するも、全国DIを2期連続で上回る水準に。来期は広島県ではさらに低下し、全国DIと同水準になる見通し。



2. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県産業別では、建設業が3期ぶりの低下となり、全ての業種で低下傾向に。来期は、すべての業種で上昇見通しで、特にサービス業では大幅に回復する見通し。



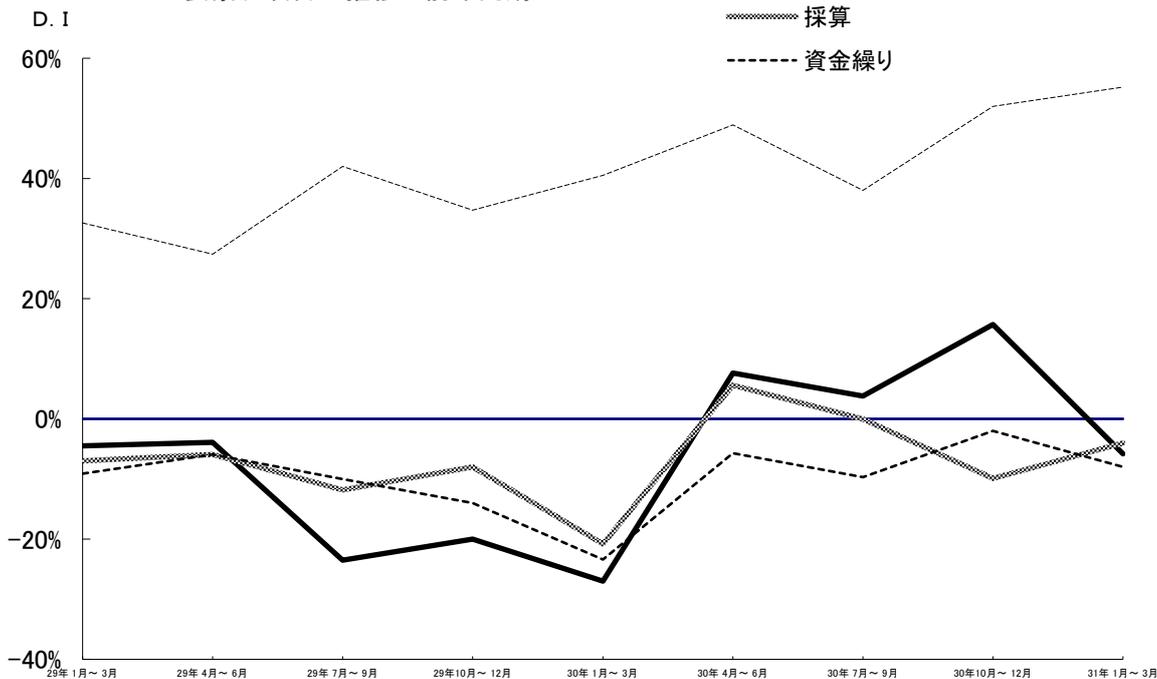
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	H30.10～12	H31.1～3	前期との比較	H31.4～6	今期との比較	
売上額	15.7	-5.8	↘	5.8	↗	
原材料仕入単価	52.0	55.2	↗	46.0	↘	
採算	-9.9	-4.0	↗	-3.9	→	
資金繰り	-2.0	-8.0	↘	-1.9	↗	

広島 製造業

主要景況項目の推移-前年同期比-



..... 企業のコメント

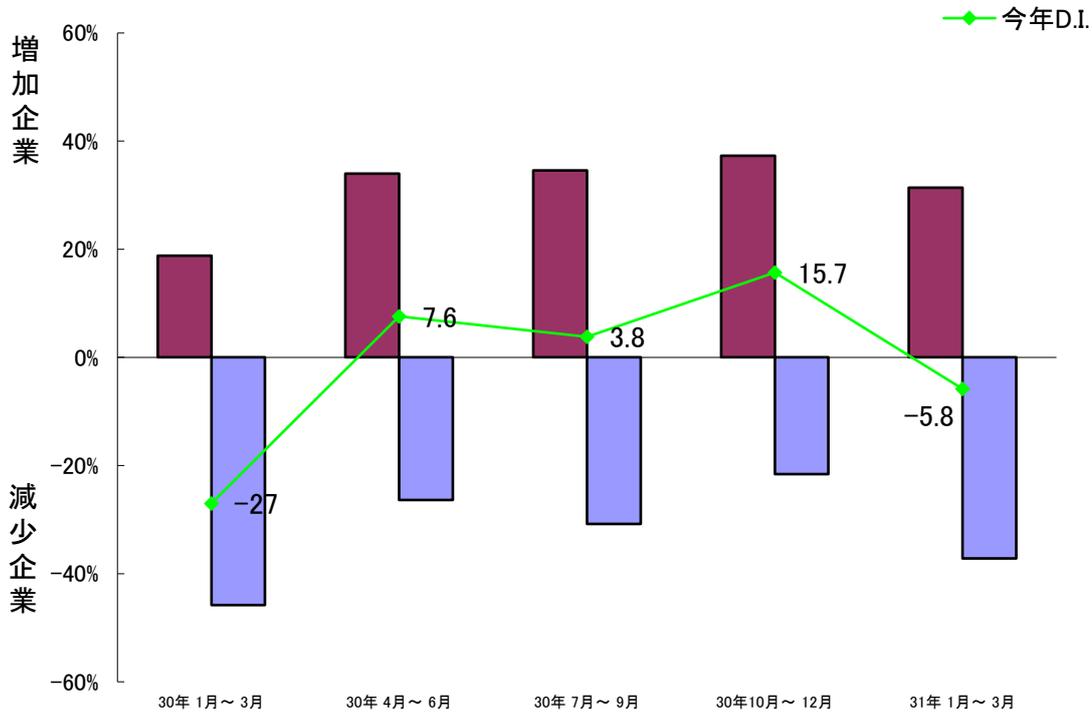
- ・ 原材料の高騰により、やむを得ず値上げをしたところ、材料の支払いは安定したが、需要が減少し、売上げが伸びない。又、取引業者も廃業する等、新規取引となれば、材料単価も上がり、難しい。【パン・菓子製造業】
- ・ 今期は一年を通じてコンスタントに受注ができ、売上も2割ほど伸びた。また海外からの受注もあり、今後も期待できそうである。新人が4月までに3名入社し、パワーアップ出来そうで期待している。【その他の生産用機械・同部分品製造業】
- ・ 燃系業界はやめていく企業が依然として続き、残っている所も縮小し、取引先も織物ニット関係は減少傾向で、工業資材向けの受注に切り換えつつある。契約が決まっても設備が少なく、対応に追われ納期に間に合わない状態です。【製糸業, 紡績業, 化学繊維・ねん糸等製造業】
- ・ 受注分の納期遅れや、作り直しのロスや値引きが利益を圧迫していた。解消すべく、繰り返しミーティングをし、意見を出し合う事、皆で決めていく事により好転した。話し合いの力は、大きいと感じます。【他に分類されない衣服・繊維製身の回り品製造業】
- ・ 店主の高齢化により製品の停止を予定しており、少しずつ取引先との契約を終了させているので減少してくる。原材料の上昇と運賃の値上げと色々なもののルール改正で、発生する経費の上昇は中小企業にはかなりの痛手です。【調味料製造業】

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島 製造業

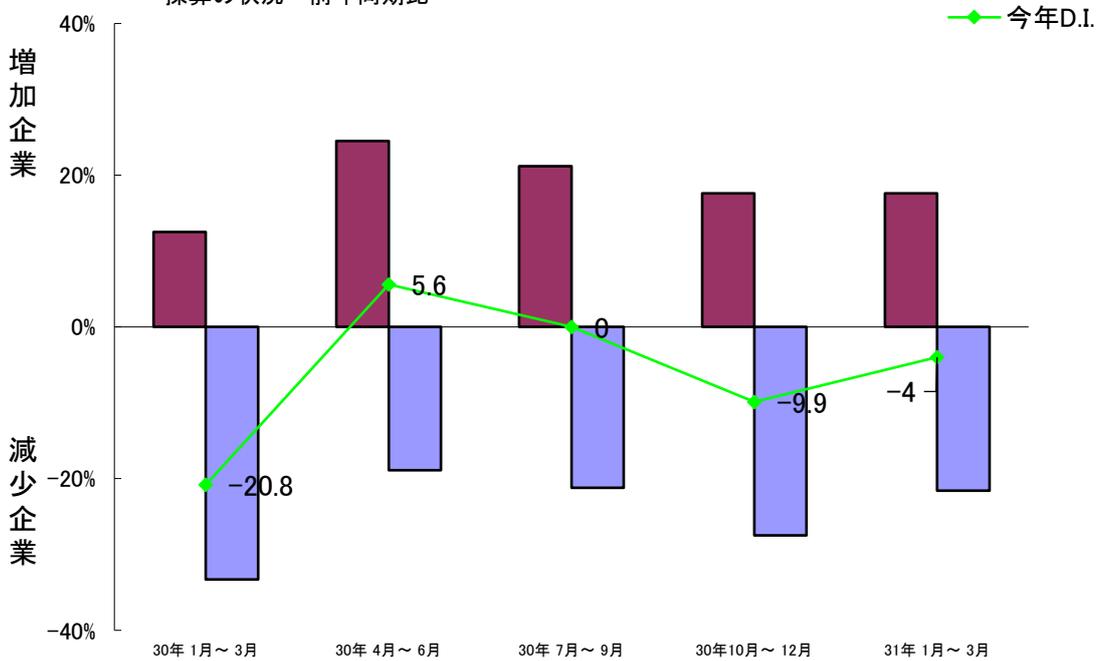
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

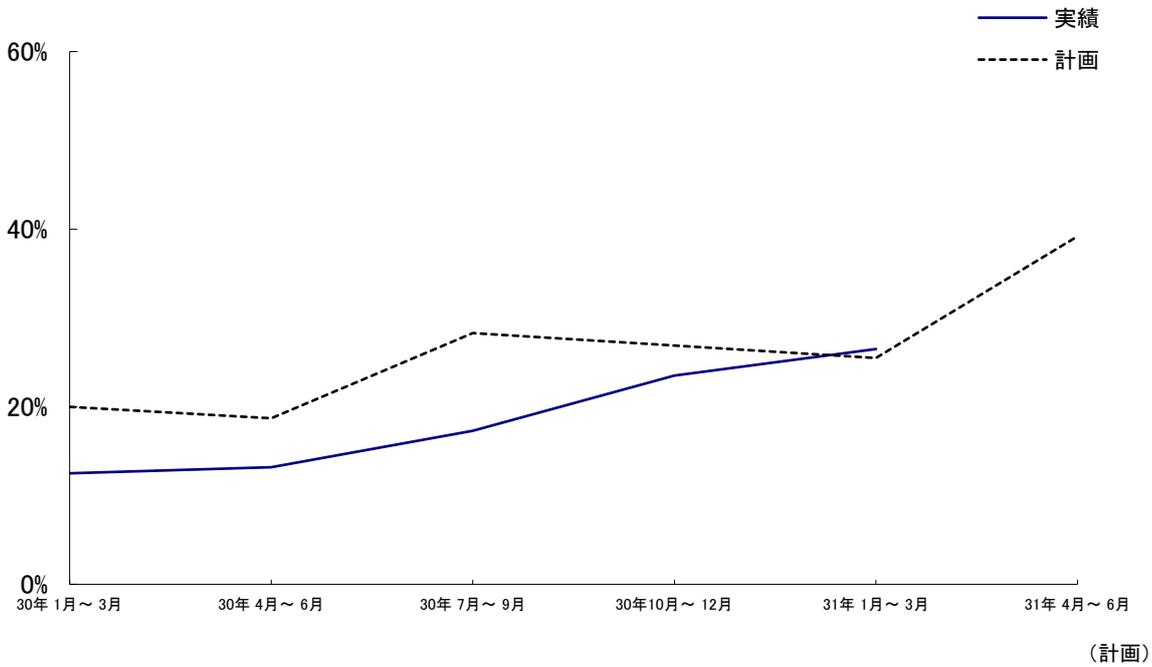
広島 製造業

採算の状況-前年同期比-



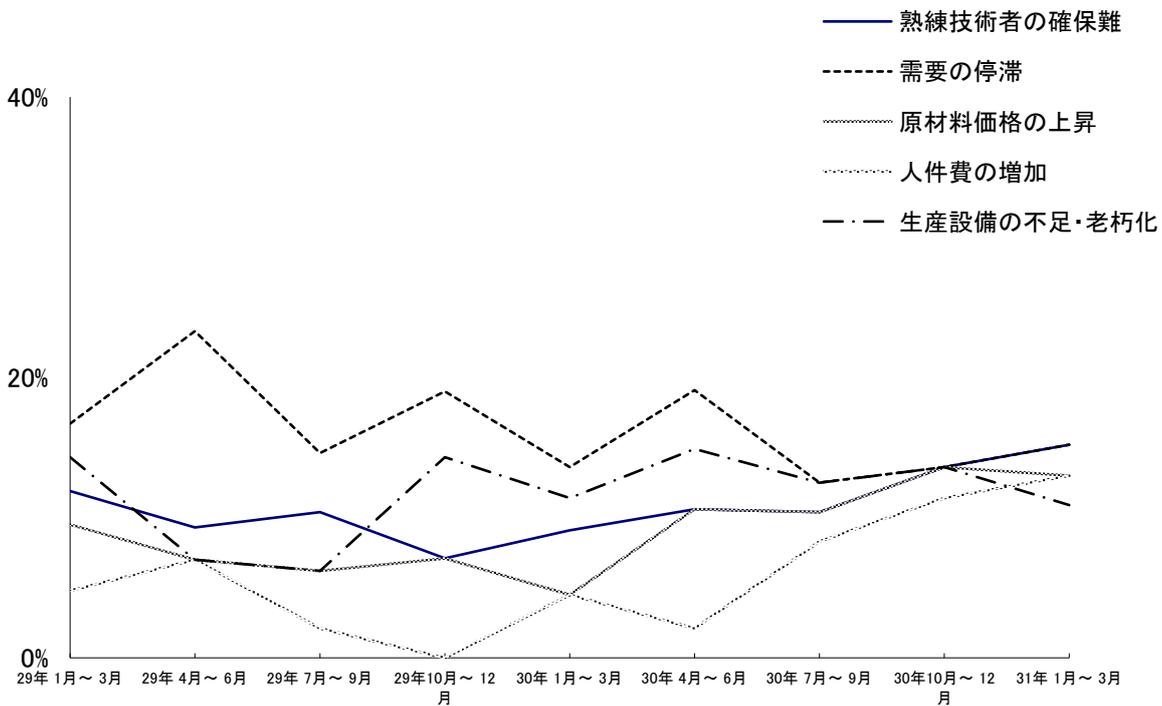
4.設備投資の状況

広島 製造業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

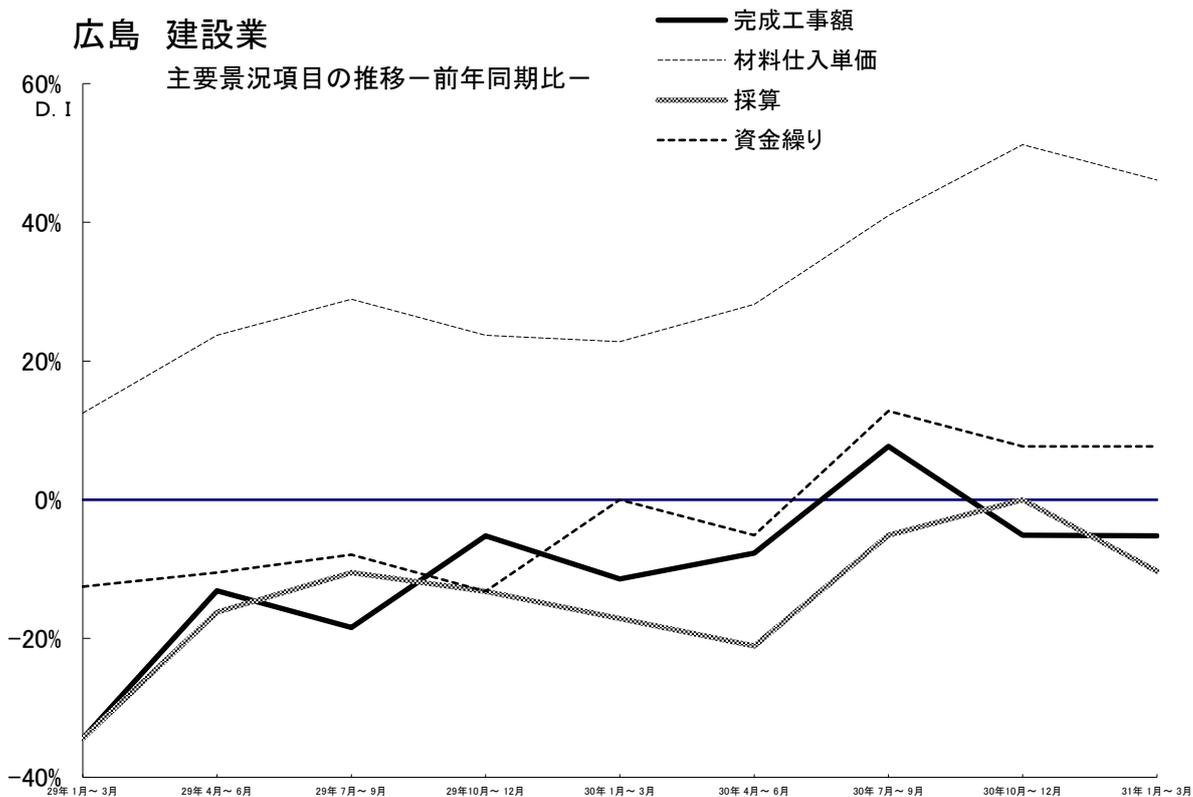
広島 製造業



建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	H30.10~12	H31.1~3	前期との比較	H31.4~6	今期との比較	
売上額 (完成工事額)	-5.1	-5.2	→	-5.1	→	
材料仕入単価	51.2	46.1	↓	28.2	↓	
採算	0.0	-10.3	↓	-15.4	↓	
資金繰り	7.7	7.7	→	2.5	↓	



企業のコメント

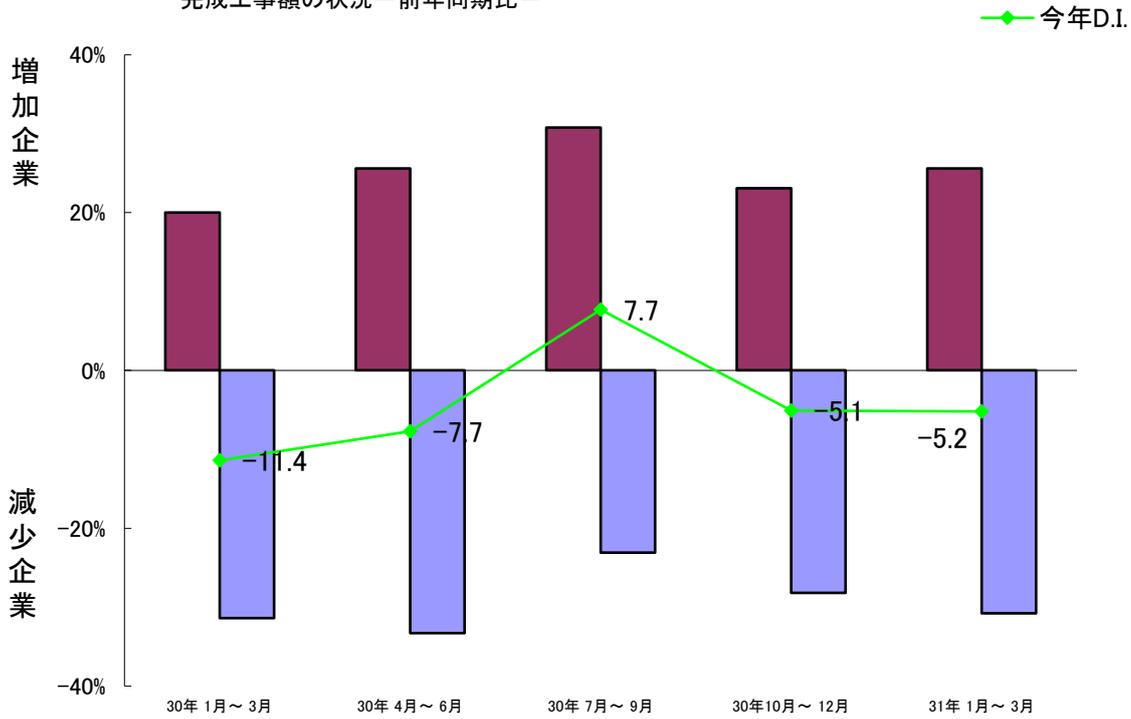
- ・ 従業員の高齢化と新規従業員の確保難に直面している。災害復旧工事の増加による工事の引き合いは多数あるのだが、従業員不足により受注できない。
【管工事業(さく井工事業を除く)】
- ・ 毎年1~3月は地元の工事が無い。下請で市内の仕事をするけど、工場の経費は常にかかるので大変。
【大工工事業】
- ・ 人材確保に早急に取り組んで行く。
【鉄骨・鉄筋工事業】
- ・ 前回の調査時期と同様、土砂除去の受注工事増加により、業況堅調に推移している。
【その他の職別工事業】
- ・ ニュース等では業況は好転していると言うけど、まったく実感が無い。年々厳しくなっているようです。
【電気通信・信号装置工事業】

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島 建設業

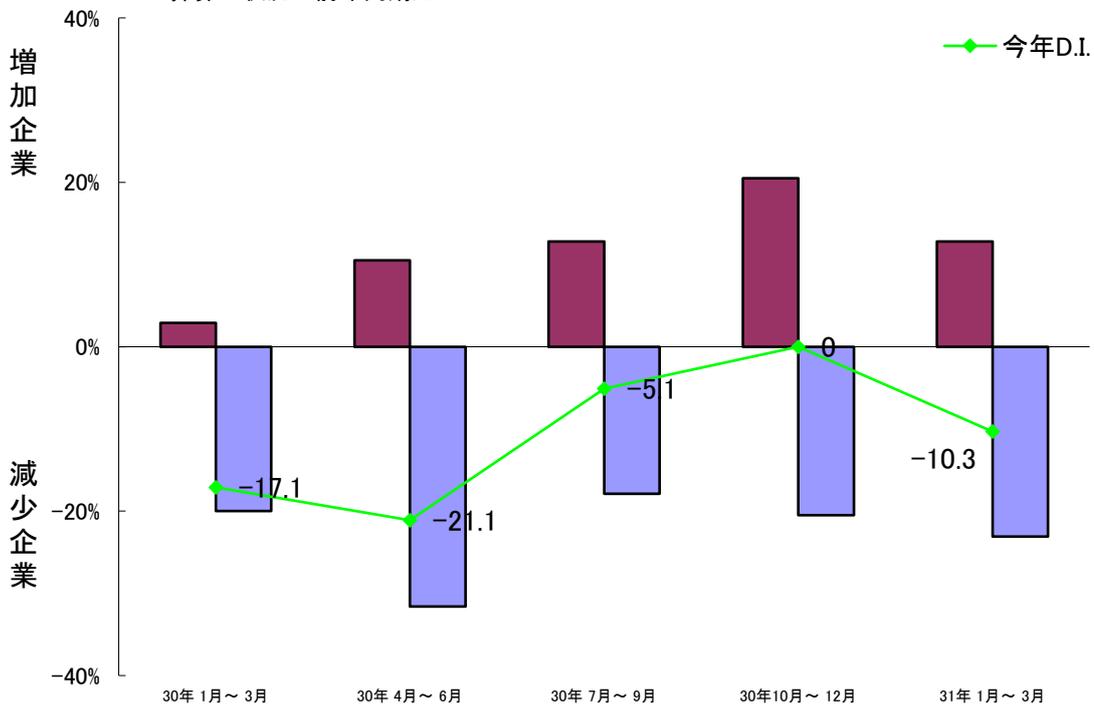
完成工事額の状況 -前年同期比-



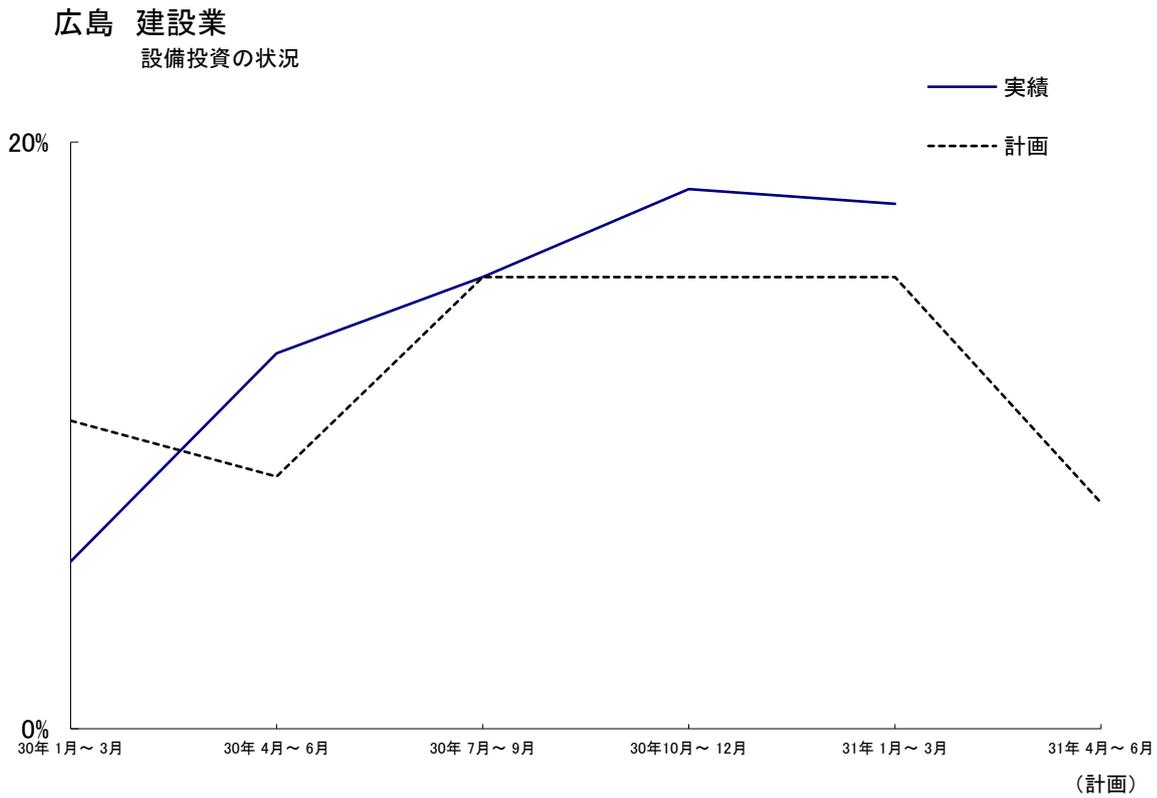
3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島 建設業

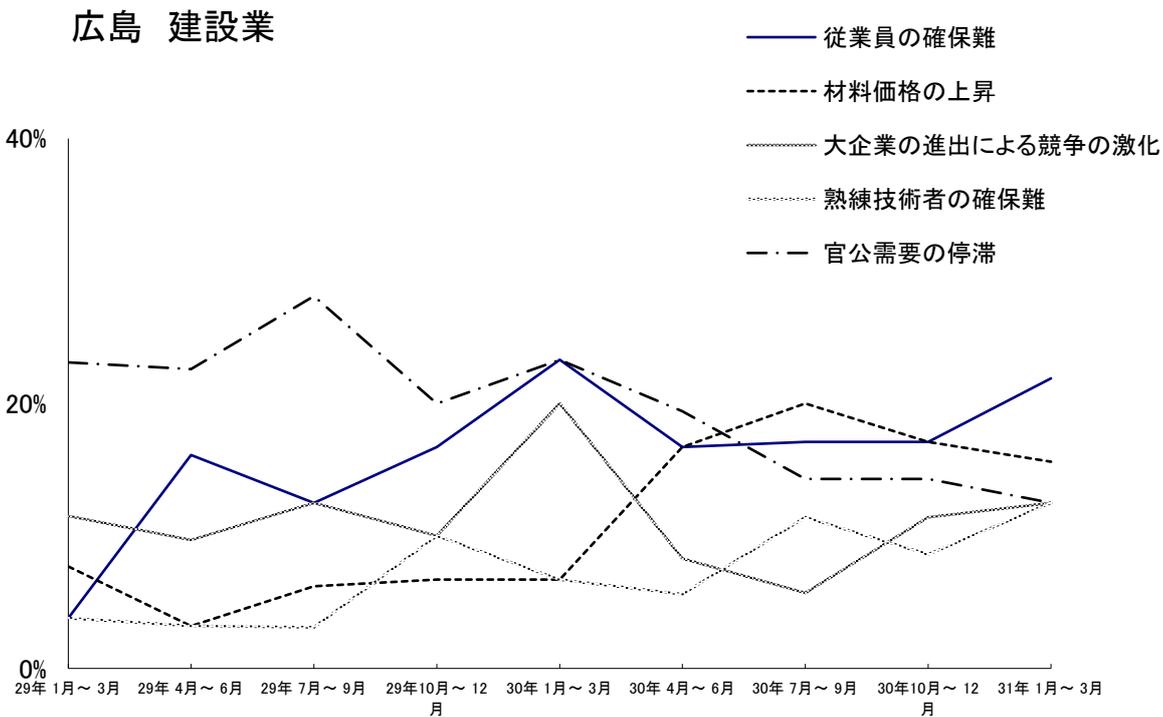
採算の状況 -前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



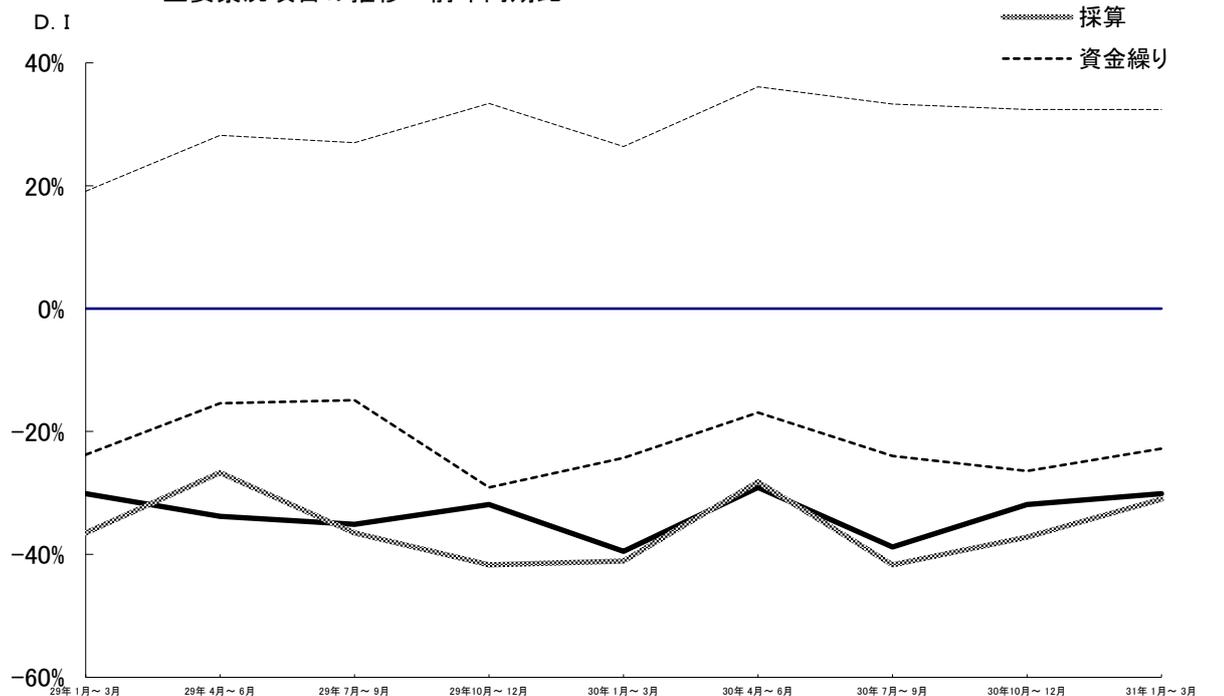
小売業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI 主要項目	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	H30.10~12	H31.1~3	前期との比較	H31.4~6	今期との比較	
売上額	-31.9	-30.1	→	-42.2	↘	
商品仕入単価	32.4	32.4	→	33.8	→	
採算	-37.2	-31.0	↗	-31.0	→	
資金繰り	-26.4	-22.8	↗	-22.6	→	

広島 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

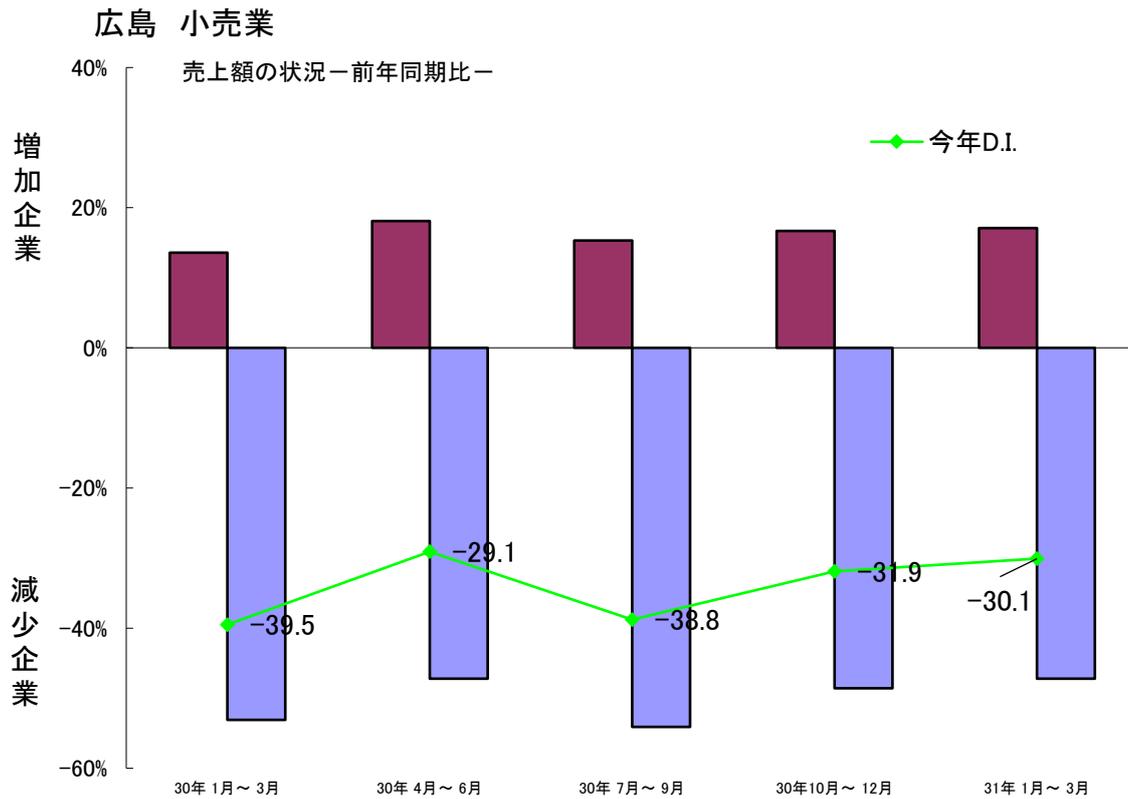


..... 企業のコメント

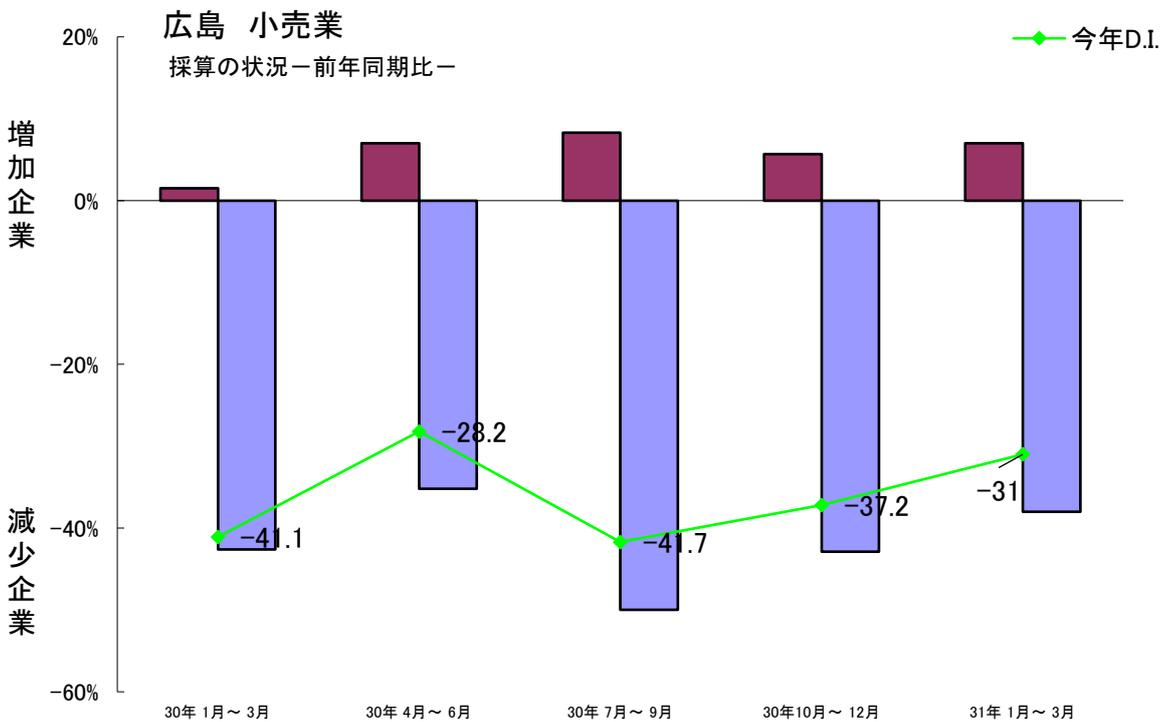
- ・ 今冬は暖冬傾向にあり、冬物衣料が苦戦した。3月になり、気候も安定すれば客足も伸びるかもしれないが、災害の影響もあり、買い控えの人も多い。【婦人・子供服小売業】
- ・ 災害後の復興需要があり(継続中)現況は良い。しかし春以降は通年では少し停滞又は減少に転ずるが、今期は予定としたら復興需要も見込んでいる。しかし、現況を踏まえて次の一手をも模索していかなければ、陰りが生じてきたら心配である。【燃料小売業】
- ・ 大型店の「安くて品揃えも豊富」というイメージもあり、CMも頻繁に流れ、街へ流れる方も居られるのであろう。しかし、当社も田舎ならではの強み、親切丁寧安全をモットーに更に努力していく。【自動車小売業】
- ・ 1月より商品価格の改定を実施し、売上が増加に転じた。また、季節商品販売が好調で、来店客の増加にもつながった。シーズンに合わせた商品の投入でお客様の興味を引き出し、常に話題性のある展開をしていきたい。【菓子・パン小売業】
- ・ 昨年の豪雨災害以降、人口流出や購買意欲の低下等、先行き不安が拭えていない。これから相次ぐ値上げ、秋には、消費税増税も控えており、当分は、減収減益が続くと予想。増税前の駆け込み需要は、あるかも。【酒小売業】

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-



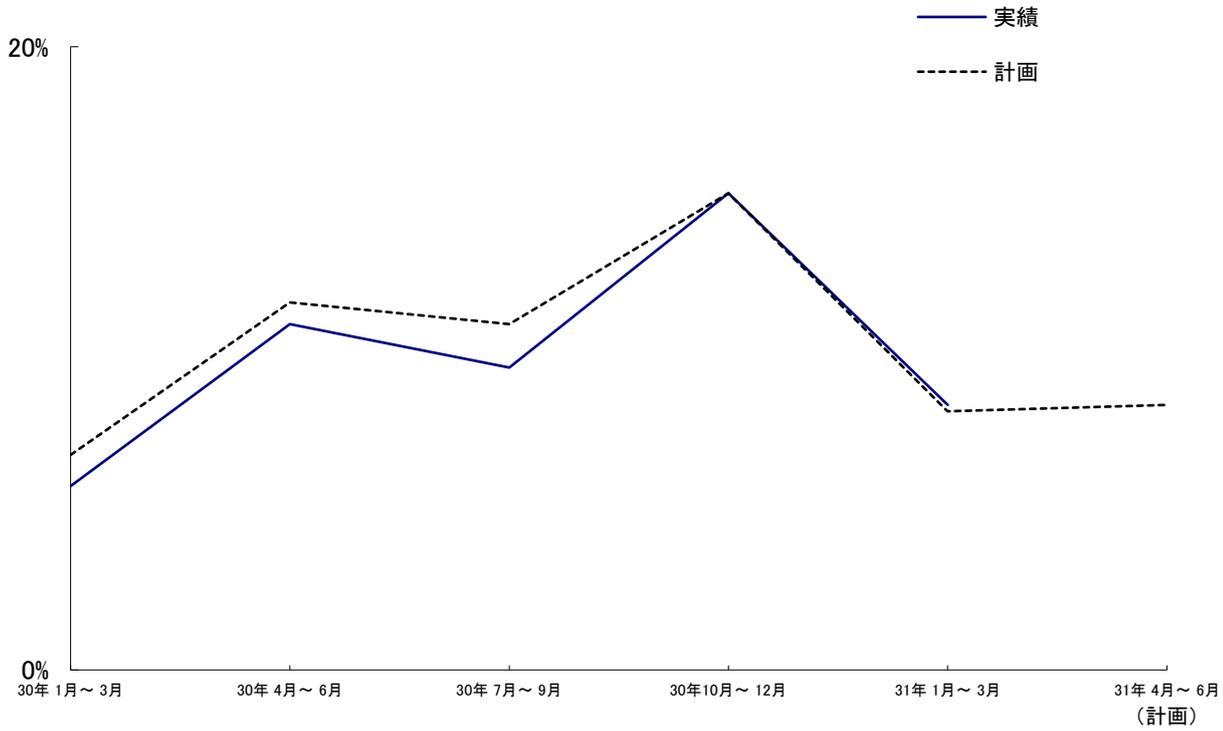
3.採算（経常利益） -前年同期比-



小売業（商工会地域）

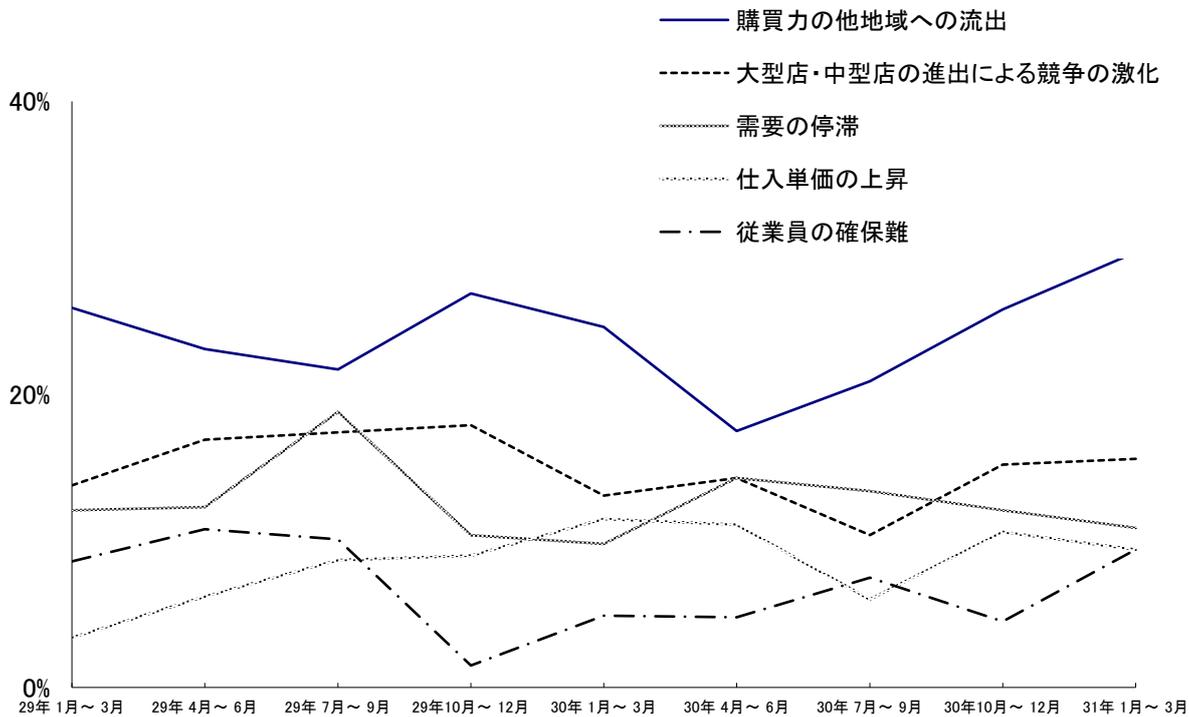
4.設備投資の状況

広島 小売業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 小売業



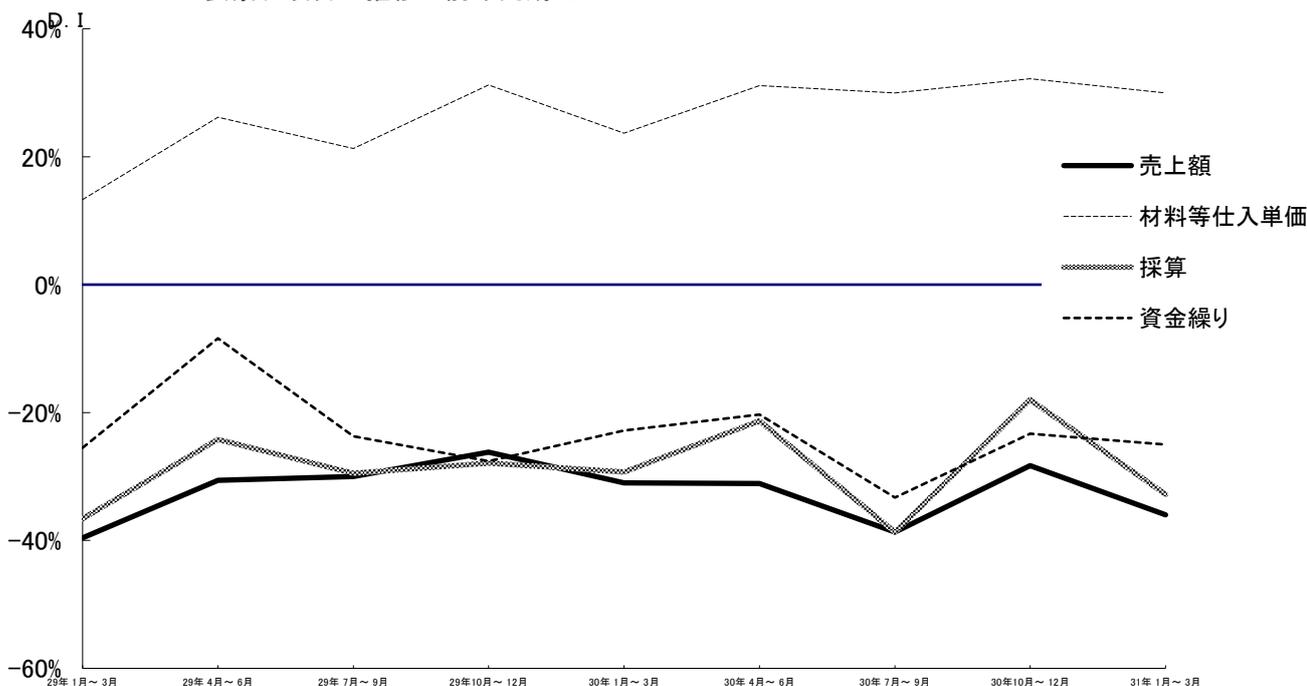
サービス業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI 主要項目	(前期)	(今期)		(来期見通し)	
	H30.10~12	H31.1~3	前期との比較	H31.4~6	今期との比較
売上額	-28.3	-36.0	↓	-8.3	↑
材料等仕入単価	32.2	30.0	↓	23.3	↓
採算	-18.0	-32.8	↓	-18.3	↑
資金繰り	-23.3	-25.0	→	-16.9	↑

広島 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

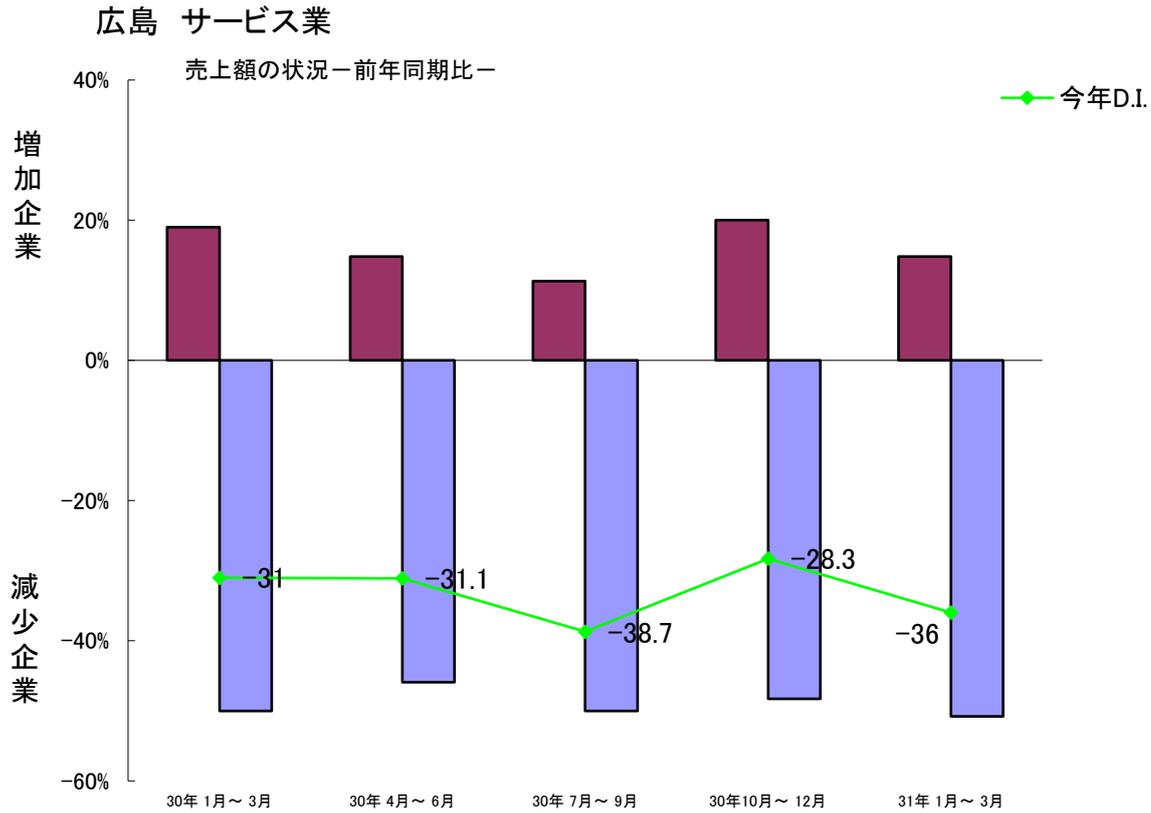


..... 企業のコメント

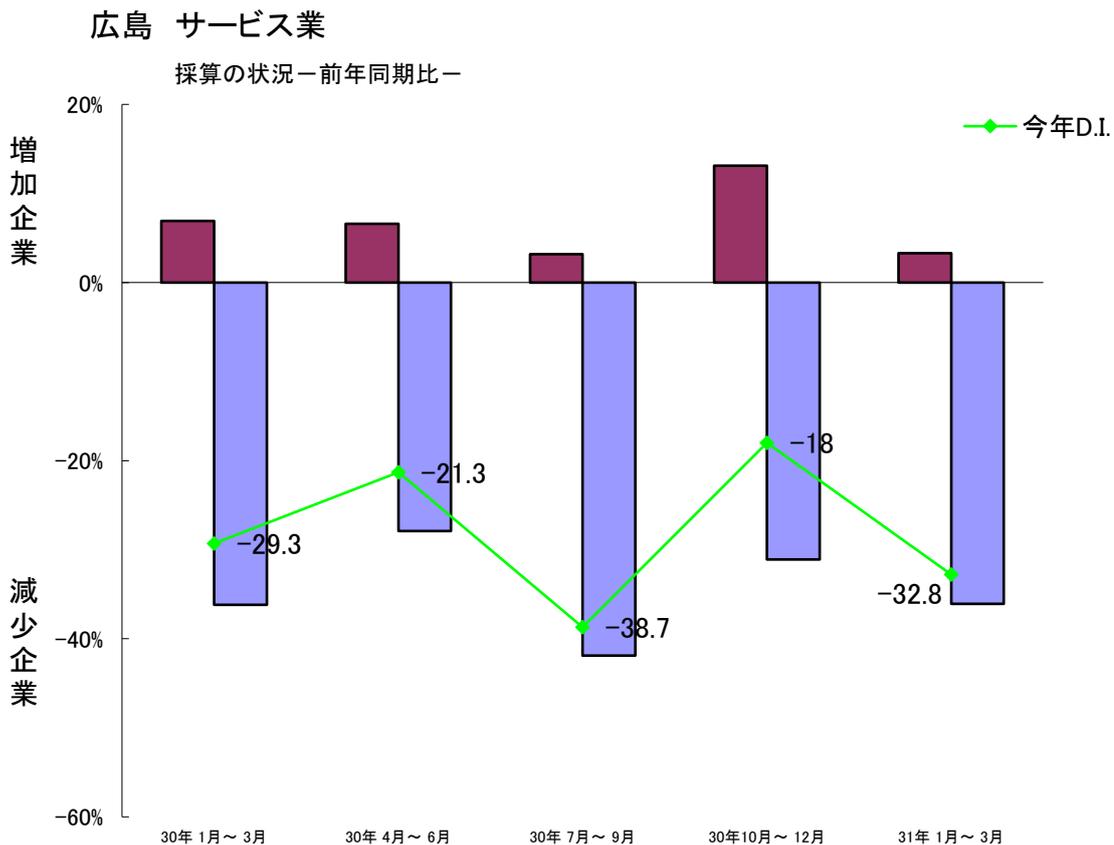
- ・ やっと水害による集客不足を脱し、団体予約の増加を主因として、客数が増加に転じた。団体増加により客単価は落ちたものの売上高は増加傾向。【旅館, ホテル】
- ・ 人材の確保難に悩んでいる。【自動車整備業】
- ・ 昨年7月の豪雨災害以来、キャンセル等沢山あり、そのまま客足が減少となっている。今年度2月に浴場天井の修理により採算減少となった。次年度は何とか取りもどしたいと全員頑張っている。【その他の宿泊業】
- ・ 売上、利用客は特に大きな変動はないが、数年続くバスの事故報道もあり、若い従業員の確保が難しい。【一般乗用旅客自動車運送業】
- ・ お客様の高齢化によるお客様の減少。幅広い年齢層の利用を考える。高齢の方にも楽しんで来てもらえるようなものがあればいいと思う。【美容業】

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

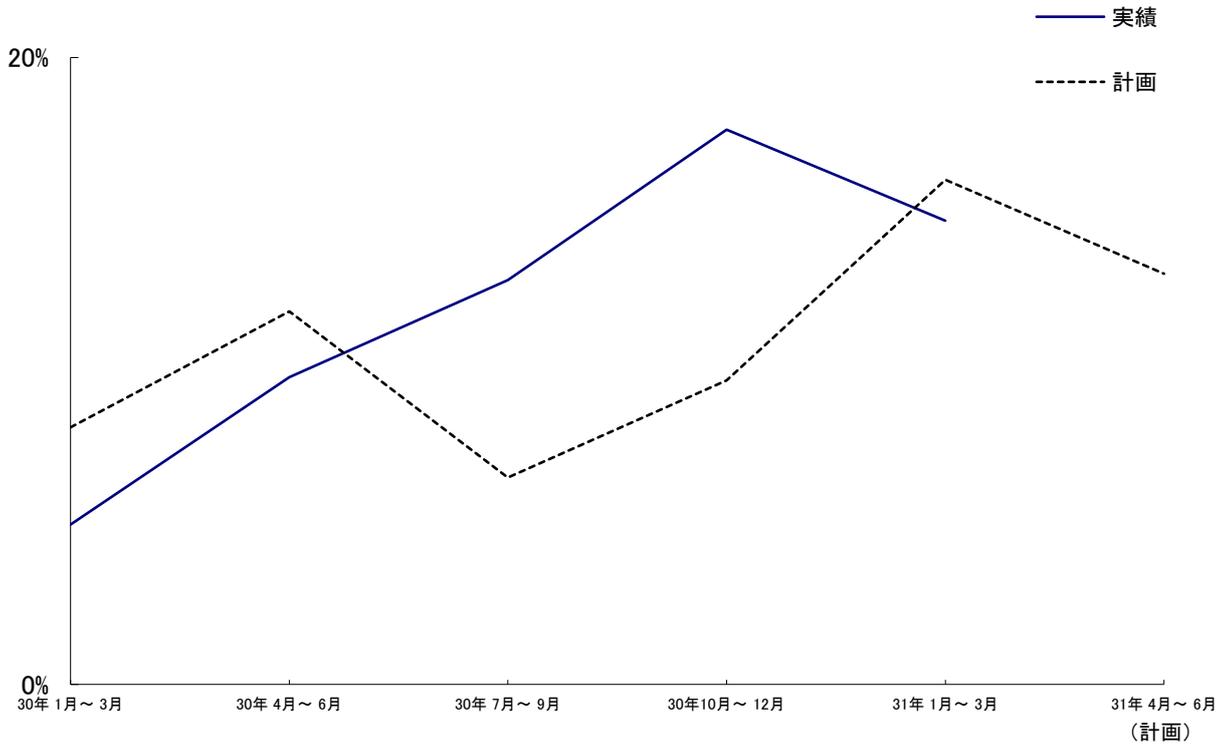


3.採算(経常利益) -前年同期比-



4.設備投資の状況

広島 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島 サービス業

